

都市消防委員会  
説明資料

平成27年3月5日

消防局

## 目 次

	頁
1 消防力の整備指針について.....	1
(1) 本市の充足状況.....	1
(2) 主な政令指定都市の充足率.....	2
2 主な政令指定都市の一般会計における消防費の割合について.....	3
3 震災対策事業基金の対象事業について.....	4
4 災害対策委員について.....	4
(1) 費用弁償金額.....	4
(2) 年齢構成.....	5
5 避難準備情報発表に伴う情報の伝達について.....	7
(1) 避難準備情報の連絡体制.....	7
(2) 平成26年台風第19号に伴う避難準備情報の伝達状況.....	8
6 避難所運営訓練の実施状況等について.....	9
(1) 主な内容.....	9
(2) 区別実施状況.....	10
(3) 主な課題.....	13
7 同報無線の設置状況について.....	14
8 発電機・投光器等の主な仕様について.....	14
9 消防団員の報酬等について.....	15
(1) 報酬.....	15
(2) 手当.....	15
10 消防団員の意見聴取について.....	16
(1) 消防団員アンケート.....	16
(2) 名古屋市消防団のあり方検討会及び懇談会.....	16
11 消防団員の年齢構成について.....	17
12 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣について.....	19
(1) ボランティアの対象.....	19
(2) 事業の概要.....	19
(3) 講習会の実施.....	20
(4) 派遣事業.....	20

(5) 今までの取組み事例.....	21
13 16階建て以上の建築物について.....	22
14 現場到着時間について.....	23
(1) 消防隊.....	23
(2) 救急隊.....	24
15 救急出動に係る誤りについて.....	25
(1) 出動指令時.....	25
(2) 病院搬送時.....	25
16 豊が丘及び有松出張所周辺学区の救急隊の出動状況について.....	26
17 救急出動件数について.....	27
18 救急搬送状況について.....	27
(1) 年齢区分別搬送人員.....	27
(2) 診療科目別搬送人員.....	28
(3) 特定行為の実施件数.....	29
19 主な特殊車両等の配置状況について.....	30
20 交通事故発生状況について.....	31
(1) 交通事故件数.....	31
(2) 負傷者の発生した事例（平成26年中）.....	32
(3) 主な再発防止策.....	33
21 ヘリコプターの出動状況について.....	34
22 ヘリコプターの共同運航に係る愛知県との協議について.....	34
(1) 平成23年度行政評価の結果.....	34
(2) 主な共同運航.....	35
(3) 共同運航に係る協議内容.....	35
23 消防車両の更新に伴う売却状況について.....	36
(1) 平成25年度.....	36
(2) 平成26年度.....	37

# 1 消防力の整備指針について

## (1) 本市の充足状況

### ア 平成25年度

平成25.4.1現在

区 分		基 準	現 有	充 足 率 (%)
施設	署 所	66	65	98.5
	車 両 等	286	269	94.1
人員	消防職員の総数	2,492	2,289	91.9
	警 防 要 員	1,970	1,809	91.8
	予 防 要 員	290	248	85.5
	庶務等の要員	232	232	—

### イ 平成26年度

平成26.4.1現在

区 分		基 準	現 有	充 足 率 (%)
施設	署 所	66	65	98.5
	車 両 等	286	269	94.1
人員	消防職員の総数	2,501	2,294	91.7
	警 防 要 員	1,970	1,809	91.8
	予 防 要 員	294	248	84.4
	庶務等の要員	237	237	—

(2) 主な政令指定都市の充足率

ア 平成25年度

平成25.4.1現在

区 分	施 設		人 員 (%)
	署 所 (%)	車 両 等 (%)	
名 古 屋	98.5	94.1	91.9
札 幌	100.0	100.0	92.8
横 浜	100.0	98.4	100.0
京 都	98.0	96.0	96.5
大 阪	100.0	100.0	97.3
神 戸	93.5	91.8	91.0
福 岡	100.0	100.7	93.8

イ 平成26年度

平成26.4.1現在

区 分	施 設		人 員 (%)
	署 所 (%)	車 両 等 (%)	
名 古 屋	98.5	94.1	91.7
札 幌	100.0	100.0	92.4
横 浜	100.0	96.4	100.0
京 都	98.0	95.0	97.0
大 阪	100.0	100.0	97.2
神 戸	93.5	92.2	91.4
福 岡	100.0	100.0	93.7

2 主な政令指定都市の一般会計における消防費の割合について

区 分	平成25年度 (%)	平成26年度 (%)
名古屋	2.7	2.6
札幌	2.2	2.1
横浜	2.6	2.8
京都	3.2	3.1
大阪	2.3	2.1
神戸	2.4	2.5
福岡	1.9	1.8

### 3 震災対策事業基金の対象事業について

区 分	事 業
防 災 危 機 管 理 費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域避難行動計画策定支援</li> <li>・ 大学と連携した減災行動の推進</li> <li>・ 避難所運営訓練等の実施</li> <li>・ 同報無線整備の設計</li> <li>・ 防災行政無線の移設</li> <li>・ 避難所への発電機・投光器の整備</li> <li>・ 街路灯への海拔表示</li> <li>・ 防災備蓄スペースの整備</li> </ul>
消 防 費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団活動用デジタル無線機の購入</li> <li>・ 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣</li> <li>・ 消防署の非常用発電機整備の設計</li> <li>・ 防火水槽の耐震補強</li> </ul>

### 4 災害対策委員について

#### (1) 費用弁償金額

月額2,262円

## (2) 年齢構成

区 分	20歳以上 30歳未満 (人)	30歳以上 40歳未満 (人)	40歳以上 50歳未満 (人)	50歳以上 60歳未満 (人)
千 種	4	10	26	52
東	0	0	9	11
北	0	4	25	36
西	2	6	28	43
中 村	2	1	8	24
中	0	2	4	30
昭 和	0	2	11	16
瑞 穂	0	3	14	17
熱 田	0	2	4	10
中 川	2	8	24	61
港	2	6	14	22
南	1	11	17	41
守 山	3	16	43	44
緑	0	22	49	69
名 東	2	12	34	45
天 白	1	16	22	53
合 計	19	121	332	574

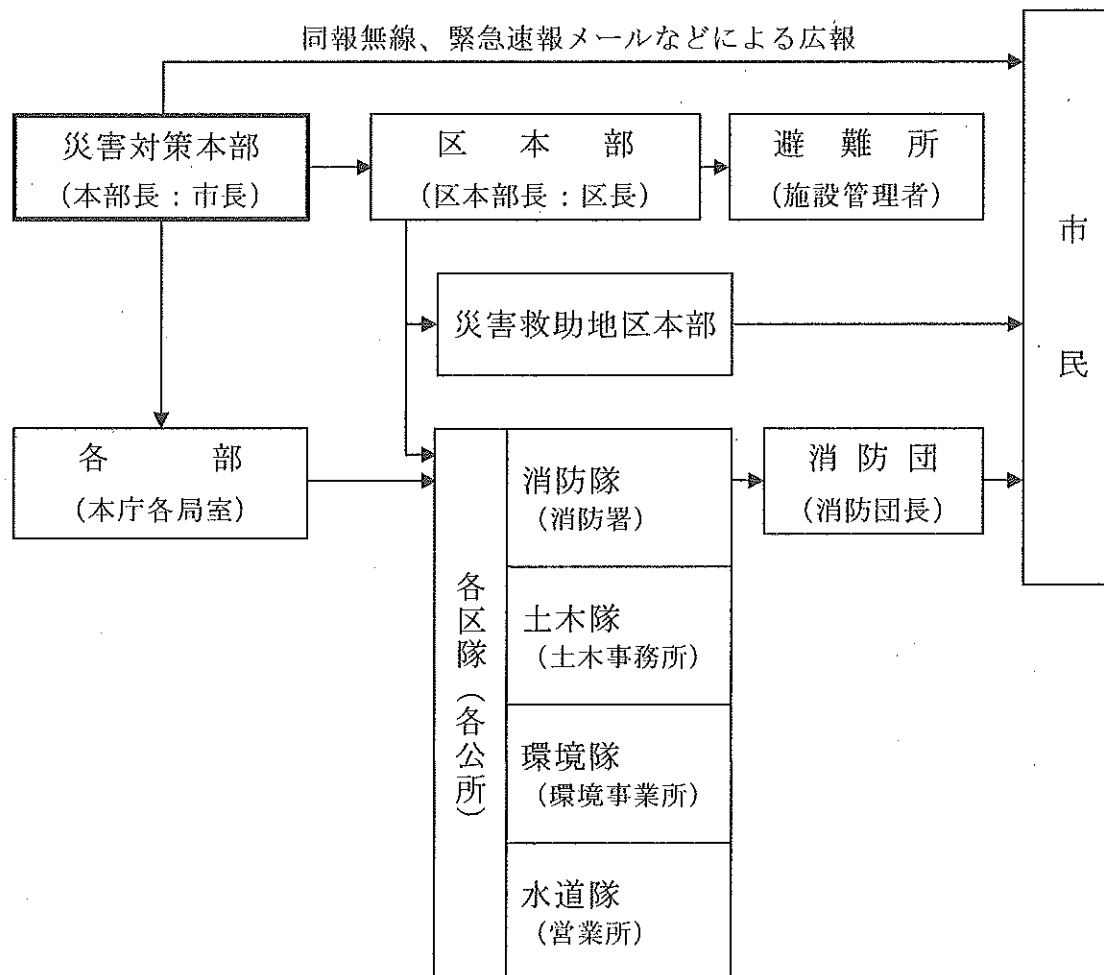


平成26. 4. 1現在

60歳以上 70歳未満 (人)	70歳以上 80歳未満 (人)	80歳以上 90歳未満 (人)	合 計 (人)	平均年齢 (歳)
158	142	8	400	64.8
69	80	8	177	68.2
153	177	16	411	67.2
203	164	16	462	65.9
130	136	24	325	68.6
101	143	33	313	69.5
99	116	7	251	67.9
95	115	9	253	67.8
53	70	15	154	69.1
240	139	6	480	64.7
136	120	12	312	66.9
183	106	4	363	64.5
180	113	3	402	62.8
257	140	8	545	62.8
113	94	4	304	62.5
129	88	7	316	63.0
2,299	1,943	180	5,468	65.6

## 5 避難準備情報発表に伴う情報の伝達について

### (1) 避難準備情報の連絡体制



注1 災害対策委員は、災害救助地区本部委員を兼ねる。

2 区本部からの連絡は、災害救助地区本部長を通じて各災害救助地区本部委員へ行う。

(2) 平成26年台風第19号に伴う避難準備情報の伝達状況

日 時	本市の対応	災害救助地区本部及び消防団への情報伝達状況
10月13日 10時26分	第2非常配備 災害対策本部設置 (暴風警報発表)	≪災害対策本部→各部・区本部≫ ・ 災害対策本部から各部・区本部へ第2非常配備を指示  ≪各部(総括部)→消防隊≫ ・ 総括部消防班から各消防隊へ第2非常配備を指示
10月13日 15時00分	第3非常配備 (市域に相当の被害が発生するおそれ)	≪災害対策本部→各部・区本部≫ ・ 災害対策本部から各部・区本部へ第3非常配備を指示  ≪各部(総括部)→消防隊≫ ・ 総括部消防班から各消防隊へ第3非常配備を指示  ≪消防隊→消防団≫ ・ 非常配備体制の伝達(消防団本部の設置)
10月13日 17時15分	避難準備情報発表 (市内全域)	≪災害対策本部→各部・区本部≫ ・ 災害対策本部から各部・区本部へ避難準備情報発表を伝達  ≪区本部→災害救助地区本部≫ ・ 区本部から災害救助地区本部長(学区区政協力委員長等)へ避難準備情報発表の連絡 ・ 災害救助地区本部長から各災害救助地区本部委員へ連絡  ≪各部(総括部)→消防隊≫ ・ 総括部消防班から各消防隊へ避難準備情報発表を伝達  ≪消防隊→消防団≫ ・ 消防隊から消防団(消防団長)へ避難準備情報発表を伝達

## 6 避難所運営訓練の実施状況等について

### (1) 主な内容

区 分	内 容
避難所開設 ・運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 迅速な開錠</li> <li>・ 避難者の把握・名簿作成</li> <li>・ ボランティアの要請・受け入れ対応</li> <li>・ 避難スペースの配分・誘導</li> </ul>
宿泊型訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食糧の配分</li> <li>・ 救援物資・調達物資の配分</li> <li>・ 炊き出し訓練</li> <li>・ 段ボールを活用したパーティションの設置</li> <li>・ 防災講話・講習会</li> </ul>
地域リーダーの 継続育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所運営リーダー養成講座</li> <li>・ 災害救助地区本部研修会</li> <li>・ HUG（避難所運営ゲーム）</li> </ul>

(2) 区別実施状況

ア 避難所開設・運営訓練

区分	参加学区数	実施回数	参加人数
千種	13	14	3,219
東	6	5	700
北	12	11	1,317
西	19	20	5,215
中村	18	17	3,072
中	4	4	155
昭和	11	13	1,220
瑞穂	11	11	860
熱田	4	4	900
中川	17	12	3,700
港	20	19	1,710
南	17	10	1,339
守山	16	16	3,490
緑	28	28	3,295
名東	19	13	2,220
天白	13	16	1,857
合計	228	213	34,269

注 平成26年4月1日から平成27年1月31日までの訓練の実績を示す。

イ 宿泊型訓練

区分	参加学区数	実施回数	参加人数
千種	0	0	0
東	0	0	0
北	2	2	230
西	1	1	1,000
中村	0	0	0
中	0	0	0
昭和	11	1	100
瑞穂	1	1	200
熱田	2	2	345
中川	0	0	0
港	2	2	430
南	2	2	448
守山	2	2	200
緑	25	1	417
名東	0	0	0
天白	1	1	416
合計	49	15	3,786

注 平成26年4月1日から平成27年1月31日までの訓練の実績を示す。

ウ 地域リーダーの継続育成

区分	参加学区数	実施回数	参加人数
千種	6	6	290
東	9	4	255
北	19	2	500
西	19	1	50
中村	18	2	94
中	10	10	155
昭和	11	1	100
瑞穂	0	0	0
熱田	6	5	943
中川	9	1	66
港	14	1	50
南	18	3	255
守山	20	10	455
緑	5	5	117
名東	19	2	76
天白	17	2	162
合計	200	55	3,568

注 平成26年4月1日から平成27年1月31日までの訓練の実績を示す。

(3) 主な課題

区 分	内 容
避難所開設 ・ 運営訓練	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 女性や災害時要援護者への配慮</li><li>・ 負傷者の搬送経路、簡易トイレパックの廃棄場所など、マニュアルにない細部事項についての事前調整</li><li>・ 発生時間や災害の種類などの想定を変えての継続実施</li></ul>
宿泊型訓練	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実施する時期（寒暖）や時間（長さ）など、参加者の負担軽減への配慮</li><li>・ 継続的に実施し、より多くの市民に体験してもらえるような配慮</li><li>・ 参加者の9割以上から「参加してよかった」との回答を得ており、より若い世代を含め、多くの方が参加できるような配慮</li></ul>
地域リーダーの 継続育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「内容に物足りなさを感じる」という参加者の意見があることから、高い知識・技術を持った参加者のレベルに合った内容の講習会の実施</li></ul>



## 7 同報無線の設置状況について

平成26.4.1現在

区 分		子 局 数
市 有 施 設	小 中 学 校	55
	公 園	32
	市役所、区役所、支所	17
	上下水道局施設	14
	消防署、出張所	12
	そ の 他	30
市 有 施 設 以 外		17
合 計		177

## 8 発電機・投光器等の主な仕様について

区 分	内 容
発 電 機	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力400ワット以上</li> <li>持運びが可能で、燃料はガスボンベを使用</li> </ul>
投 光 器	<ul style="list-style-type: none"> <li>光束10,000～15,000ルーメン程度 (体育館全体に光が届く程度)</li> </ul>
交換用ガスボンベ、 コードリール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>交換用ガスボンベは、72時間程度の使用量</li> </ul>

注 光束とは、照明器具自体の明るさを示す単位である。

## 9 消防団員の報酬等について

### (1) 報酬

区 分	年 額 (円)	
	現 行	平成27年度予定
団 長	—	37,500
副 団 長	—	34,500
部 長	—	31,500
班 長	—	28,500
団 員	—	25,500

### (2) 手当

区 分	活 動 内 容	単 価 (円)	
		現 行	平成27年度 予 定
災害対応	火災、救助、警戒及び救急出動	1,000	3時間以上 7,000 3時間未満 3,500
非常配備	第 3 ・ 4 非 常 配 備	1,000	7,000
	第 1 ・ 2 非 常 配 備	1,000	1,000
警戒警備	災 害 対 応 以 外 の 警 戒 活 動	1,000	1,000
訓練指導	自 主 防 災 訓 練 等	1,000	3,500
教養訓練	・ ポンプ訓練 ・ 応急手当普及員講習等	1,000	1,000
火災予防	火 災 予 防 運 動 広 報 等	1,000	—
地域活動	地 域 で 開 催 さ れ る 祭 り の 警 備 等	—	—
その他	各 種 会 議 、 器 具 手 入 等	1,000	—

## 10 消防団員の意見聴取について

### (1) 消防団員アンケート

区 分	主 な 内 容
消防団充実強化に係る 消防団員アンケートの実施 (平成26年5月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の全消防団員に対してアンケートを実施</li> </ul> (項目) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報酬支給の要否について</li> <li>・ 消防団の装備について</li> <li>・ 消防団活動について 他</li> </ul>

### (2) 名古屋市消防団のあり方検討会及び懇談会

区 分	主 な 内 容
第1回検討会及び懇談会 (平成26年5月22日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に照らした本市消防団の課題について</li> </ul>
第2回検討会及び懇談会 (同年6月19日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団員の処遇について</li> </ul>
第3回検討会及び懇談会 (同年7月17日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団員の処遇について</li> </ul>
第4回検討会及び懇談会 (同年9月16日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団の装備について</li> <li>・ 消防団の教育訓練について</li> </ul>
第5回検討会及び懇談会 (同年10月1日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団の負担金制度について</li> <li>・ 消防団活性化対策について</li> </ul>

11 消防団員の年齢構成について

区 分	20歳未満 (人)	20歳以上 30歳未満 (人)	30歳以上 40歳未満 (人)	40歳以上 50歳未満 (人)	50歳以上 60歳以上 (人)
千 種	1	12	30	74	82
東	0	1	23	47	65
北	0	10	32	97	133
西	0	8	29	108	110
中 村	0	9	36	108	117
中	1	3	17	57	72
昭 和	0	8	17	52	68
瑞 穂	2	6	31	42	74
熱 田	0	2	11	45	37
中 川	2	14	70	163	164
港	1	29	97	191	160
南	3	10	39	95	121
守 山	1	7	44	113	123
緑	3	28	115	193	164
名 東	3	9	34	86	143
天 白	1	19	43	108	143
合 計	18	175	668	1,579	1,776

平成26. 4. 1現在

60歳以上 70歳以上 (人)	70歳以上 80歳未満 (人)	80歳以上 (人)	合 計 (人)	平均年齢 (歳)
104	22	0	325	53.6
59	16	0	211	53.9
129	32	1	434	54.6
136	0	0	391	53.1
102	18	0	390	52.5
64	21	2	237	54.6
70	9	0	224	53.9
65	16	0	236	53.0
43	15	0	153	54.4
129	9	0	551	50.9
112	5	0	595	48.6
123	16	0	407	53.0
113	29	0	430	53.2
105	4	0	612	47.9
119	14	0	408	53.4
73	5	1	393	50.4
1,546	231	4	5,997	52.0

## 12 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣について

### (1) ボランティアの対象

講習会修了後、ボランティアとして活動ができる方

### (2) 事業の概要

区 分	内 容
各 種 調 整 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区役所等との連絡調整</li> <li>・ カリキュラム及びテキスト等の作成</li> <li>・ 進捗状況の管理</li> </ul>
地 域 関 係 者 等 への 説 明 と 調 整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区政協力委員長会議</li> <li>・ 消防団長会議</li> <li>・ 防災安心まちづくり部会 等</li> </ul>
受 講 者 募 集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域関係者等からの推薦、広報なごや及び区の 情報誌による募集 等</li> </ul>
講 習 会 の 実 施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア養成講座</li> <li>・ ボランティア養成実践研修</li> <li>・ ボランティアフォローアップ研修</li> </ul>
取 付 希 望 者 募 集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域関係者等からの情報提供、消防署及び区役 所が実施する事業やイベントでの募集 等</li> </ul>
派 遣 事 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取付希望者をボランティアグループへ依頼</li> <li>・ 複数名のチームによる取付け</li> <li>・ 地域関係者や消防団員等との協力</li> </ul>

(3) 講習会の実施

区 分	名 称	内 容
新 規 (港・緑)	ボランティア養成講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の被害想定</li> <li>・ 家具固定の基礎知識</li> <li>・ 家具固定の実習</li> </ul>
	ボランティア養成実践研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人宅での実習</li> </ul>
フォローアップ (昭和・守山)	ボランティアフォローアップ 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の被害想定</li> <li>・ 区の状況</li> <li>・ 家具固定の実習</li> </ul>

注 定員は、各区20名とする。

(4) 派遣事業

区 分	軒 数
ボランティアの派遣 (昭和・港・守山・緑)	100

(5) 今までの取組み事例

ア 昭和区 (昭和区社会福祉協議会)

(ア) 養成

区 分	養成修了者数
平成26年度	27

(イ) 取付け

取付実績無し

イ 守山区 (守山区社会福祉協議会又は守山区ボランティア団体)

(ア) 養成

区 分	養成修了者数
平成17年度	35
平成20年度	26
平成26年度	32

(イ) 取付け

区 分	取 付 実 績 (軒)
平成24年度	23
平成25年度	27
平成26年度	61



## 13 1.6階建て以上の建築物について

平成27.3.1現在

区 分	建 築 物 数
千 種	8
東	15
北	3
西	4
中 村	14
中	38
昭 和	0
瑞 穂	1
熱 田	4
中 川	0
港	2
南	0
守 山	0
緑	1
名 東	0
天 白	1
合 計	91

## 14 現場到着時間について

### (1) 消防隊

平成26年中

区 分	平均時間 (分)	最長時間 (分)
千種消防署	4.0	7
東消防署	4.1	6
北消防署	4.4	10
西消防署	4.9	9
中村消防署	4.2	7
中消防署	3.8	7
昭和消防署	4.5	11
瑞穂消防署	3.8	7
熱田消防署	3.9	5
中川消防署	4.6	11
港消防署	4.7	10
南消防署	4.6	8
守山消防署	5.4	12
緑消防署	5.7	8
名東消防署	4.8	7
天白消防署	4.3	7

注1 平均時間は、出動指令から最初に現場到着した消防隊の平均時間を示す。

2 最長時間は、出動指令から最初に現場到着した消防隊の最長時間を示す。

## (2) 救急隊

平成26年中

区 分	平 均 時 間 (分)	最 長 時 間 (分)
千 種	6. 0	2 2
東	6. 2	1 8
北	6. 5	3 3
西	6. 1	2 9
中 村	5. 3	3 4
中	5. 8	2 8
昭 和	5. 5	2 0
瑞 穂	6. 0	2 0
熱 田	5. 7	1 8
中 川	6. 8	2 4
港	6. 4	3 6
南	6. 4	2 1
守 山	7. 4	3 2
緑	7. 5	3 0
名 東	7. 3	3 1
天 白	6. 3	3 3

注1 平均時間は、出動指令から現場到着までの平均時間を示す。

2 最長時間は、出動指令から現場到着までの最長時間を示す。

## 15 救急出動に係る誤りについて

### (1) 出動指令時

平成26年中

区 分	件 数
オペレーターの建物名称等のとり違い	2
指令管制システムの指令情報の入力間違い	1
合 計	3

### (2) 病院搬送時

平成26年中

区 分	件 数
携帯電話の操作ミスによる医療機関へのかけ間違い	2
救急隊員間のコミュニケーション不足による搬送先医療機関の間違い	1
合 計	3

16 豊が丘及び有松出張所周辺学区の救急隊の出動状況について

平成26年中

区 分		平均現場到着時間 (分)
豊 が 丘 出 張 所	名 東 区	藤 が 丘
		猪 高
		猪 子 石
		本 郷
		豊 が 丘
		引 山
有 松 出 張 所	守 山 区	大 森
		本 地 丘
		天 子 田
		森 孝 東
		森 孝 西
有 松 出 張 所	緑 区	平 子
		東 丘
		有 松
		太 子
		桶 狭 間
		南 陵

8. 1

9. 3

8. 9

17 救急出動件数について

平成25年中 (件)	平成26年中 (件)	増 減 (件)
115,281	117,695	2,414

18 救急搬送状況について

(1) 年齢区分別搬送人員

平成26年中

区 分	搬 送 人 員
新 生 児 (生後28日未満)	471
乳 幼 児 (生後28日以上満7歳未満)	4,684
少 年 (満7歳以上満18歳未満)	3,099
成 人 (満18歳以上満65歳未満)	39,573
高 齢 者 (満65歳以上)	55,597
合 計	103,424

## (2) 診療科目別搬送人員

平成26年中

区 分	搬 送 人 員
内 科	61,672
整 形 外 科	15,363
脳 神 経 外 科	8,714
外 科	7,933
小 児 科	4,453
産 婦 人 科	1,312
泌 尿 器 科	1,001
耳 鼻 咽 喉 科	878
精 神 科	743
そ の 他	1,355
合 計	103,424

(3) 特定行為の実施件数

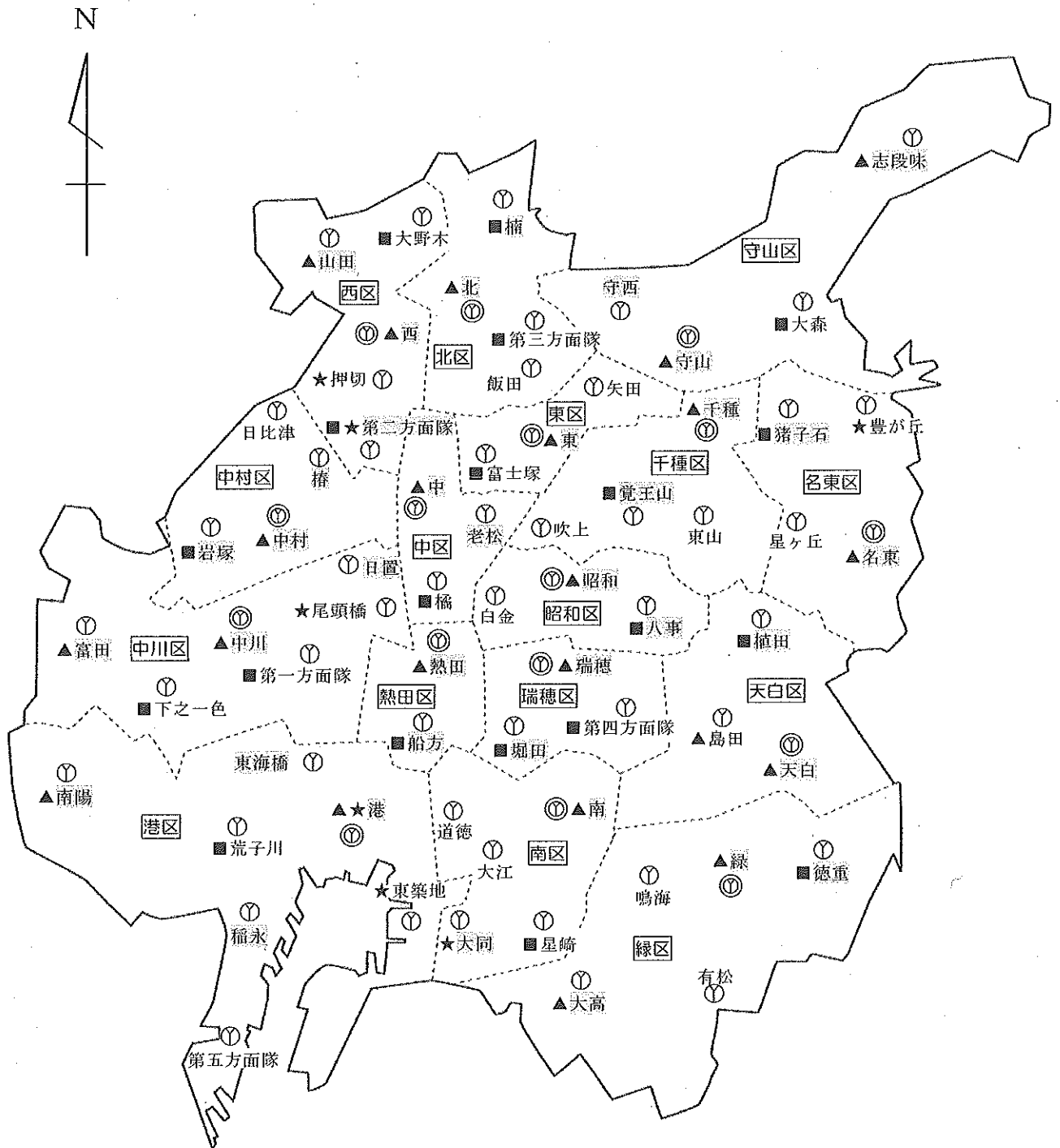
平成26年中

区 分	件 数
気 道 確 保	1, 2 3 1
静 脈 路 確 保	2 6 8
薬 剤 投 与	2 4 7



19 主な特殊車両等の配置状況について

平成26. 4. 1現在



凡例

- ..... : 区境界
- ⊙ : 消防署(16)
- ⊙ : 消防署出張所(特別消防隊含む。)(49)
- ▲ : はしご車配置署所(22)
- ★ : 化学車(大型化学高所放水車含む。)配置署所(7)
- : 救助車配置署所(20)
- : 救急車配置署所(38)

## 20 交通事故発生状況について

### (1) 交通事故件数

#### ア 平成25年中

区 分	緊 急 出 動 中 (件)	緊 急 出 動 以 外 (件)
消 防 用 自 動 車	8	9
救 急 用 自 動 車	14 (6)	3
そ の 他	—	6
合 計	22	18

注 ( ) 内は、傷病者を搬送中の交通事故を示す。

#### イ 平成26年中

区 分	緊 急 出 動 中 (件)	緊 急 出 動 以 外 (件)
消 防 用 自 動 車	8	11
救 急 用 自 動 車	15 (9)	3
そ の 他	—	13
合 計	23	27

注 ( ) 内は、傷病者を搬送中の交通事故を示す。

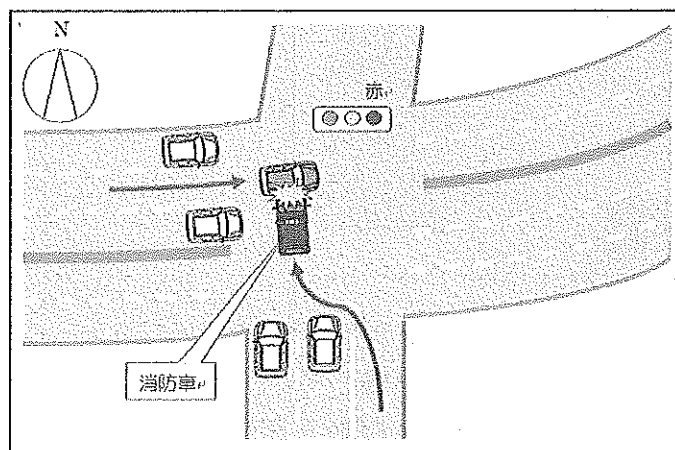
(2) 負傷者の発生した事例（平成26年中）

ア 平成26年5月11日 千種区内で発生した交通事故

(ア) 事故概要

災害現場への出動途上において、消防車が赤信号であった交差点を北進していたところ、東進で交差点に進入してきた乗用車と接触したものの。

(イ) 概要図

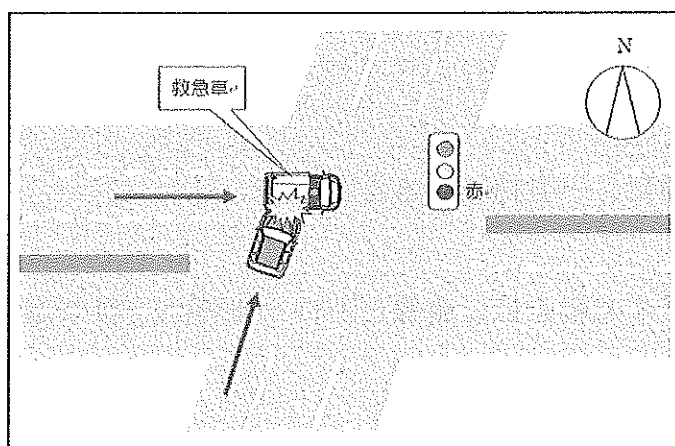


イ 平成26年7月6日 西区内で発生した交通事故（傷病者搬送中）

(ア) 事故概要

傷病者1名を病院へ搬送中、救急車が赤信号であった交差点の中央付近まで進入したところ、乗用車が救急車の右側面に衝突したものの。

(イ) 概要図



(ウ) 交通事故発生に伴う病院到着への影響

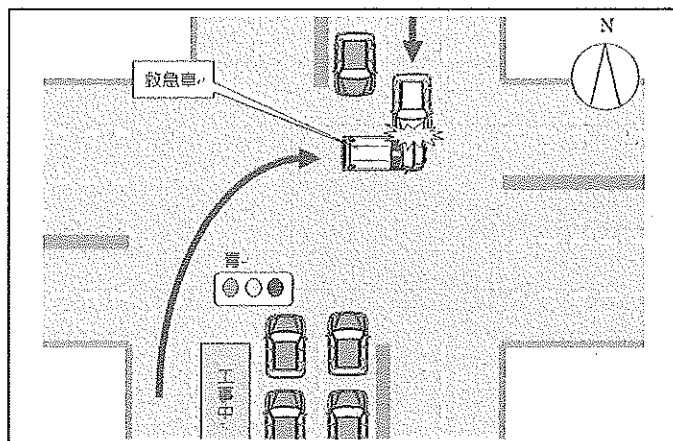
12分遅れて病院に到着したが、傷病者1名の症状悪化はなかったものの。

ウ 平成26年12月17日 港区内で発生した交通事故（傷病者搬送中）

(ア) 事故概要

傷病者2名を病院へ搬送中、救急車が青信号であった交差点を右折していたところ、対向してきた乗用車と衝突したものの。

(イ) 概要図



(ウ) 交通事故発生に伴う病院到着への影響

25分遅れて病院に到着したが、傷病者2名の症状悪化はなかったものの。

(3) 主な再発防止策

- ・ 助手席隊員も積極的に安全呼称、指差確認するなど左右の安全を確認すること。
- ・ 赤信号交差点進入前に、一旦停止すること。
- ・ 複数車線道路を横断する場合は、車線ごとに一旦停止を繰り返すこと。

## 21 ヘリコプターの出動状況について

平成26年中（単位：件）

区 分	市 内	市 外	合 計
火 災	84	5	89
救 助	23	3	26
救 急	9	5	14
訓 練 等	308		
合 計	437		

## 22 ヘリコプターの共同運航に係る愛知県との協議について

### (1) 平成23年度行政評価の結果

区 分	内 容
事 業 名	ヘリコプターの運航維持
外部評価結果	見直し
市民判定員の 主なコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県との体制を見直すべき</li> <li>・ 国・県と協力</li> </ul>
取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度に共同運航を目指した運航体制等について方針決定</li> </ul>
内 容	市内のヘリコプター運航体制を維持するとともに三連動地震の発生に備え、平成25年度からの実現に向け、愛知県との共同運航を目指した効果的・効率的な運航体制等（負担金を含む事業費・保有機数）について平成24年度に検討し、方針を決定する。

(2) 主な共同運航

区 分	概 要	実施政令指定都市
共 同 組 織 の 運 営	都道府県及び政令指定都市が、それぞれ保有する航空機を効率的に運用するため、共同で組織を運営し、都道府県内で発生した災害に対応するもの。	神戸市
出 動 範 囲 の 分 割	都道府県の区域を分割し、都道府県の保有する航空機と、政令指定都市の保有する航空機の担当区域を割り振り、それぞれ担当する区域内で発生した災害に対応するもの。	広島市
政令指定都市 の一括請負	都道府県と政令指定都市との協定等により、政令指定都市の保有する航空機が都道府県内で発生した災害に対応するもの。	千葉市、横浜市、川崎市、大阪市、京都市、福岡市、北九州市

(3) 共同運航に係る協議内容

区 分	愛知県との 調 整 会 議	協 議 内 容
平成23年度	1回	名古屋市が一括請負する案を、愛知県に提示し協議を行ったが、合意は困難との回答を得た。
平成24年度	3回	平成23年度の結果を受け、共同組織による案を、改めて愛知県に提示し協議を行ったが、最終的に合意に至らなかった。

## 23 消防車両の更新に伴う売却状況について

### (1) 平成25年度

#### ア 車両売却代金

13,786,500円

#### イ 売却車両

区分	車両種別	走行距離 (km)	取得価格 (円)
1	指揮車	93,358	38,797,500
2	防災支援車	9,154	35,479,500
3	屈折放水塔車	12,674	86,149,200
4	大型化学車	22,728	68,536,200
5	タンク車	27,498	22,890,000
6	タンク車	18,538	22,890,000
7	タンク車	24,665	22,890,000
8	タンク車	22,625	22,890,000
9	タンク車	26,464	22,890,000
10	タンク車	24,726	22,890,000
11	救急車	185,709	18,165,000
12	救急車	187,562	18,427,500
13	救急車	176,639	18,343,500
14	救急車	222,704	18,427,500

注 価格については全て税込みである。

(2) 平成26年度

ア 車両売払代金

10,260,001円

イ 売払車両

区分	車両種別	走行距離 (km)	取得価格 (円)
1	防災支援車	13,114	41,014,600
2	泡原液搬送車	7,457	20,991,400
3	タンク車	15,960	23,047,500
4	タンク車	27,004	22,890,000
5	タンク車	30,520	22,890,000
6	タンク車	28,007	23,047,500
7	タンク車	25,227	22,890,000
8	タンク車	18,511	22,890,000
9	タンク車	29,504	23,047,500

注 価格については全て税込みである。